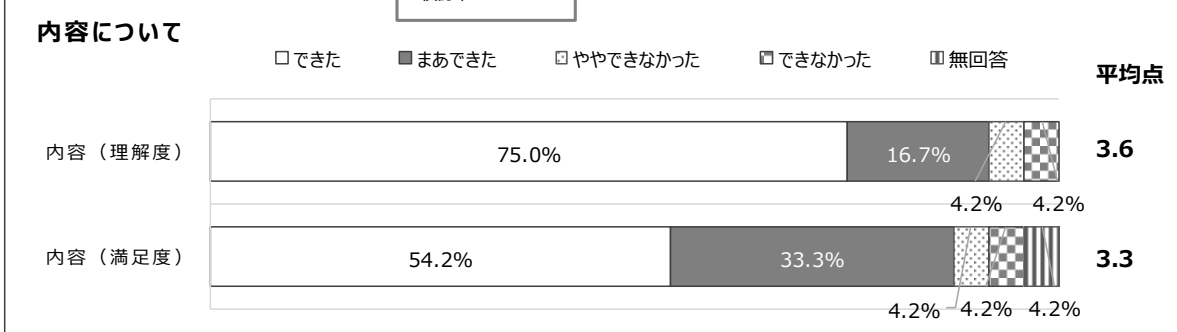
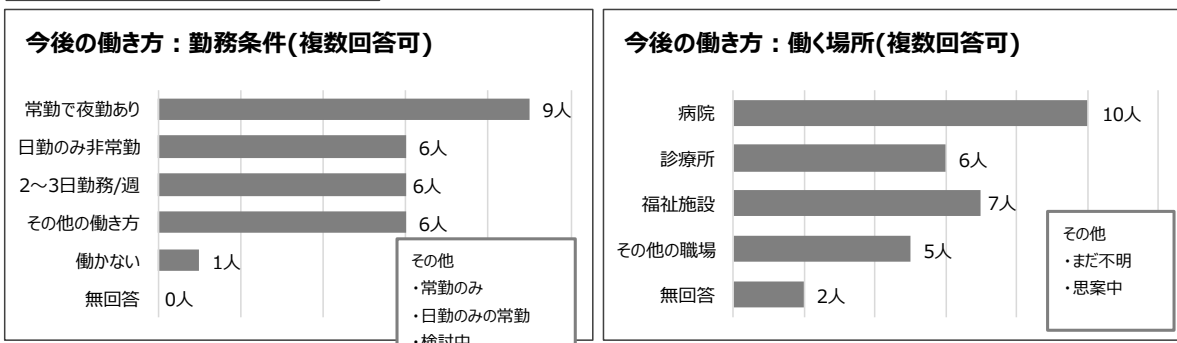
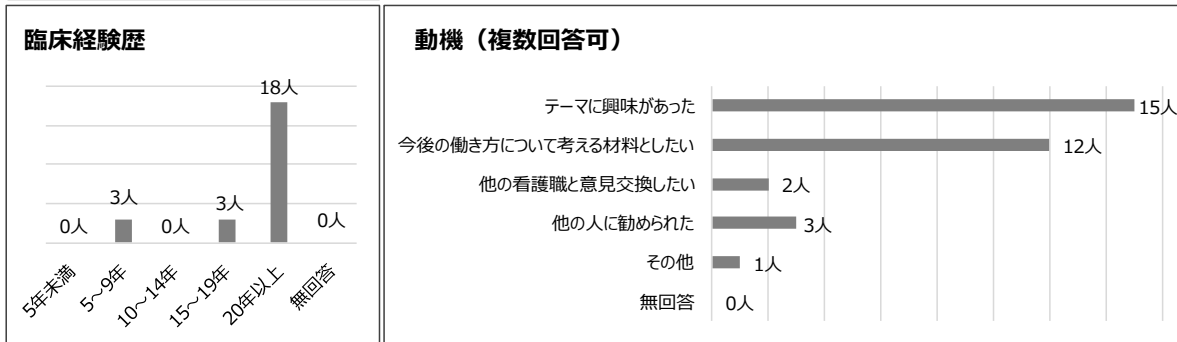
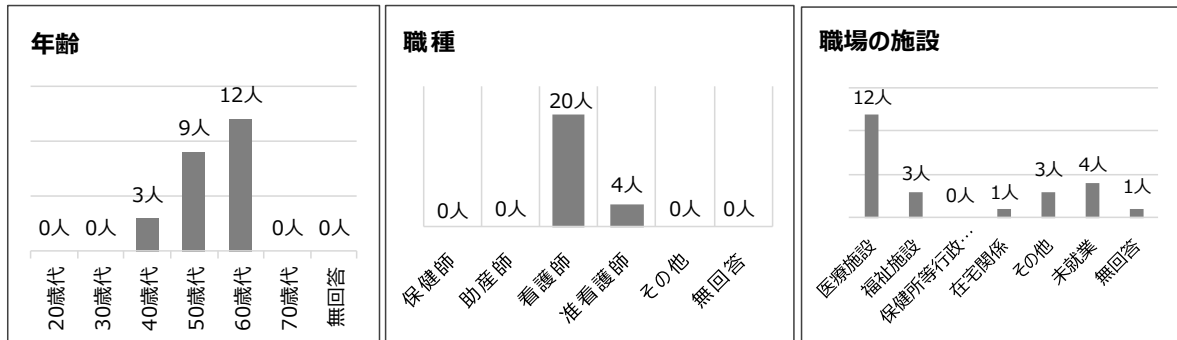
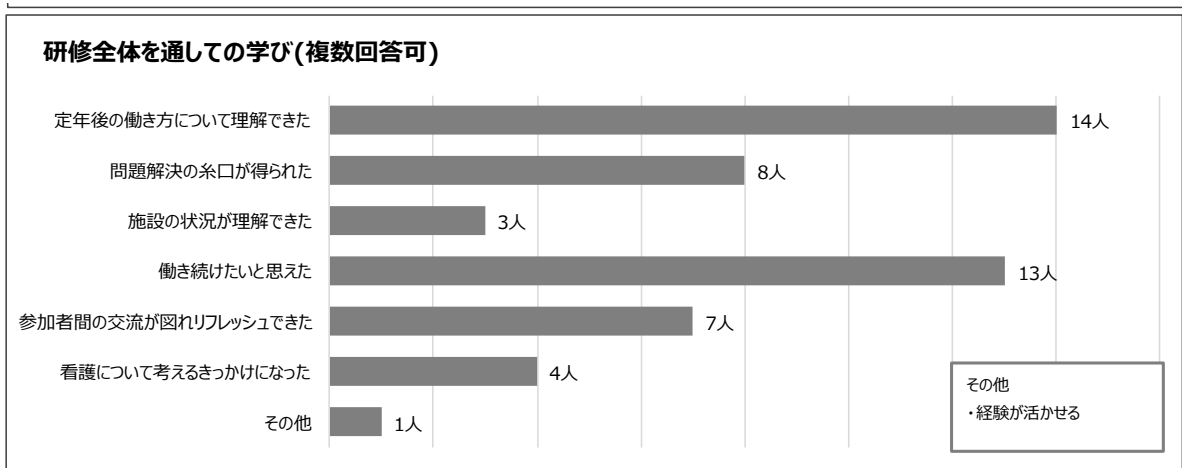


プラチナナース研修

目的：定年退職後や定年退職を控えた看護職が、今まで積み重ねてきたキャリアを活かしながら、何らかの形で看護の仕事が継続できるよう支援する。

開催日	研修内容	受講者数	会場
7/14 (金)	年金と生活設計について	15名	ながさき看護センター
10/20 (金)	定年後働いている方々との交流会	2名	ながさき看護センター
1/19 (金)	事業所説明会	9名	看護キャリア支援センター





受講者数	26人
回答者数	24人
回答率	92.3%

※割合の合計は四捨五入の関係で100%とならない場合もあります。

受講者

	病院	クリニック	福祉施設	学校	個人	計
県南	2	1				3
県央	5		3		3	11
県北		3		1	8	12
計	7	4	3	1	11	26

<評価>

受講者の8割が50才代以上のプラチナ世代であり、医療施設からの参加者が半数であった。研修後アンケートでは、「定年後の働き方について理解できた」「働き続けたいと思った」「問題解決の糸口が得られた」等、内容に関する満足度は高かった。参加人数は多くはないが、目的をもって参加される方が多く、内容に関する満足度は高かったことから、研修の目的は達成できたと考える。

<課題と今後の取り組み>

定年後働いている方との交流会の参加者は少なかったが、実際参加した受講者はよかったとの声も聞かれるため、交流会の広報活動と何か興味を持てる研修の方法を考える必要がある。年金と生活設計については県央・県南で開催のため、県北の看護職の参加が少なく課題である。

<次年度への取り組み>

- ・年金と生活設計については、県北地区でも行う。
- ・定年後働いている方々との交流会と並行して、興味のある講義をおこなってもらう。(講師調整)